

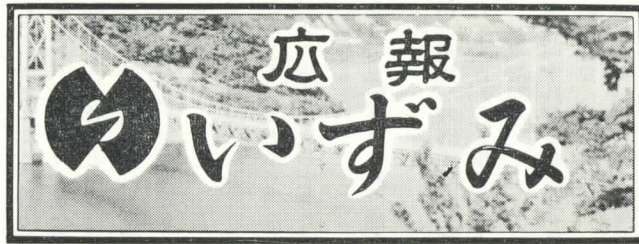
1974 (毎月1回発行)

4月号

(村の面積)

332,60 km²

発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和49年3月1日現在)

村の人口

総人口 2,152人

男 1,119人

女 1,033人

出生 0人

死亡 1人

転入 4人

転出 2人

世帯数 595世帯

昭和四十九年度

村長施政方針の概要

昭和四十九年度予算案を上程するに当り、その概要と私の施政について所信を申し上げ、議会のご批判を仰ぎ、併せて村政の推進に特段のご指導とご協力をお願いする次第であります。

本年は特に、昨年十二月以来の石油問題に端を発した、物価の異状な高騰は、一般経常費は勿論、事業費に至るまで、多大な経費負担の増加となり、加えて、これ等物価対策の影響を受け、公共事業の抑制または繰延べなど、本村の予算編成上にも大きな影響を及ぼす結果となって参りました。

こうした中で、できうる限り冗費を節約し、緊急度並びに効率度を配慮しつつ、予算の編成に当たった心算であります。これが実行段階においても、県の財政措置を慎重に見極めつつ執行いたし、財政の堅実な運用を図って参りたい所存であります。

▼施策の概要△

- 一、若い人達の定着を図り、過疎の歯止めともなるよう、また村民全般が、明るい希望をもった生活を営むとともに、豊かな村造りに励むことができるために村全体を「いいいの場」とするよう総合的開発を推進していきたい。
- 二、林業の振興及び観光、地下資源の開発等を推進しながら、教育文化施設の整備充実と住民福祉の向上などを計画的かつ積極的に推進するため、広く各界、各層の意見を聞き、計画立案に対処したい考えから、総合行政推進審議会を設置したい。
- 三、越美南北線の貫通促進には、福井・岐阜両県の関係市町村と

良部分を一日も早い完成を目指し、地域格差の是正を計る。

七、地下資源の開発については、現在、国において実施されている地質構造精密調査が続行されるよりよい成果が見られるよう、関係機関に対し強力な要請を続けていく。

八、住民の要望に答え、より高度な福祉行政を推進したい。

④、保育所の整備、「老人いこの家」などの建設を一日も早く実現したい。

⑩、老人福祉では年金の谷間といわれる老人の方々に本年度から敬老年金の制度を設ける。冬期間等出歩くことのできない老人たちに、それぞれの部落単位に、有為な時間を過せるように、試みとして、些少なからず予算計上をした。

九、教育文化事業については、良い環境のもとで、子どもたちが喜んで勉強できるようにとの考えから年次計画をもって教育設備の充実を計る。

①、朝日幼稚園の改築については、近年中に実施したい。

⑨、豪雪地帯である本村住民はとかく運動不足になりがちで以前から社会体育館の必要性にせまられていましたが、幸い、中電鉱山より多額の資金援助の申出がありましたので有難くお受けして、大納地区村民体育館の建設を予定して

います。

以上、私の施政の一端を申し上げますが、議会の皆様方の充分なご審議を仰ぎ、公正妥当なご決議をいただき、その執行に当たっては、極めて厳しい社会経済情勢を深く認識し、国、県の財政措置の動行を見極めつつ、健全なる財政の運営と効率的な行政投資に充分配慮しながら、私の全能力を挙げて、これらの事業を推進し、もって村民各位の附託に応える決意であります。

一般競争入札を

次のように執行する

入札場所 和泉村役場
日 時 四月十七日(水)
午前十時より

一般競争入札に付する建物

番号	整理建物の名称	構造	合計面積
1	旧大納小学校	木造瓦葺二階建	一、六四七・三六平方メートル
2	旧電発建物	木造トタン葺二階建(一部平屋)	八三二・四四平方メートル
3	旧国鉄バス駅住宅	木造トタン葺二階建	六三・一四平方メートル
4	旧朝日中ボイラ室	木造トタン葺平屋	一〇三・九六平方メートル

入札に参加しようとする者は、四月十六日午後五時までに、和泉村役場(総務課)へ申込んで下さい

春の全国緑化運動

くらしに夢を呼ぶ緑

緑化強調期間

自四月一日～至五月十五日

緑の週間

自四月一日～至四月七日

昭和49年度 第72回 和泉村議会定例会

一般会計 六億五一、九一〇千円 特別会計 一億一七、四四八千円 を可決

他に土地基金条例など十六議案も

第七十二回和泉村議会は三月十一日招集され、十六日までの会期日程で、村長の施政方針と新年度一般会計、村営スキー場など五特別会計を合わせると総額七億六千九百三十五万八千円（一議案は総務委員会付託）を原案どおり可決しました。

また、昭和四十八年度の最終補正予算案も原案どおり可決しました。主な議案は次のとおりです。

- 一、議案第三号 和泉村土地基金条例の制定について
- 二、議案第四号 昭和四十八年度和泉村一般会計補正予算（第七次）案
- 三、議案第五号 簡易水道事業特別会計補正予算（第五次）案
- 四、議案第六号 国民健康保険事業特別会計補正予算（第二次）案
- 五、議案第七号 診療所事業特別会計補正予算（第四次）案
- 六、議案第八号 農業共済事業特別会計補正予算（第二次）案
- 七、議案第九号 村営スキー場事業特別会計補正予算（第三次）案
- 八、議案第十号 農業共済条例の一部改正について
- 九、議案第十一号、第十二号 特別職および一般職の職員の旅費に関する条例の一部改正について
- 十、議案第十三号 昭知四十九年度分固定資産税の納期の特例に関する条例の一部改正について
- 十一、議案第十四号 和泉村総合行政推進審議会条例の制定について
- 十二、議案第十五号 村営スキー場運営審議会設置条例の制定について
- 十三、議案第十六号 村長の諮問に応じ村営スキー場の運営について、必要な調査、審議を行うため、議会、体協など各界の代表九名以内で運営審議会を置くことになりました。
- 十四、議案第十七号 同簡易水道事業特別会計予算案の改正と、農業災害補償法の改正により、共済補償割合と率の改正をしました。
- 十五、議案第十八号 同国民健康保険事業特別会計予算案
- 十六、議案第十九号 同診療所事業特別会計予算案
- 十七、議案第二十号 同農業共済事業特別会計予算案
- 十八、議案第二十一号 同村営スキー場事業特別会計予算案
- 十九、議案第二十二号 任期満了に伴う監査委員に三島 一氏（後野）再任
- 二十、議案第二十三号 任期満了に判う固定資産評価委員に谷口市松氏（上大納）再任
- 二十一、議案第二十四号 任期満了に伴う教育委員に清水一英氏（下山）新任
- 二十二、議案第二十五号 負担金付き寄付を受けることに付いて
- 二十三、議員提案第一号 大納地区村民体育館建設のため（株）日本亜鉛鉱業から七千万円の寄附を受けることになりました
- 二十四、議員提案第二号 最低賃金引き上げに関する意見書の提出について
- 二十五、議員提案第三号 最低賃金法に基づく福井県最低賃金は、月額一千元、月額二万五千元であるが、これを、月額二千四百円、月額六万円に引き上げるよう関係行政庁へ意見書を提出します。
- 二十六、議員提案第四号 失業保険法の改善に関する意見書の提出について
- 二十七、議員提案第五号 今年度提出されている雇用保険法は、本村のような積雪寒冷地帯には不利となるので、従来の失業保険法にさらに、
 - 1、失業保険法を全産業に適用すること。
 - 2、保険金の額は、賃金の八〇%とすること。
 - 3、給付日数は、最低一二〇日とすること。
 などを改善するよう要望して、関係行政庁へ意見書を提出します

忘れるな山のこころえ
火のあとしまつ

春は火災の多いシーズンです。特に山林火災が発生しやすい時期であります。次のことに充分注意して山火事を防ぎましょう。

- 1 たきびの跡始末は完全にす
- 2 たばこの吸殻は必ず消す
- 3 火入の許可は必ずとること

労働保険

年度更新のお知らせ

申告と納付は四月三十日まで

昭和四十九年度の労働保険（労働、失業保険）の年度更新手続きの時期がまいりました。

従業員や家族の方々の安心感を高めるためにも、ぜひ早目に申告と納付を済ませましょう。

事業主の方は、別に郵送しました「労働保険料申告書」に記載して四月三十日までに提出してください。

この申告書の詳しい記入要領はお知らせしてある指定受付会場で説明しますから必ず参加されますように、また、申告書は、福井労働基準局、労働基準監督署、福井県失業保険課でも受付けていますし、申告についてわからない点がありましたら、賃金台帳（建設



栽培法の講習会

事業主は契約書工事台帳と印鑑持参のうえご相談ください。

なお、労働保険に加入している事業の従業員は、通勤災害のときも、業務災害と同様な給付がうけられるようになりましたので、ぜひ、期日までに手続を忘れないようにして下さい。

黄蓮栽培で

副収入の

増大を図ろう

村は産業振興の一環として、農家経営の安定を図るため、本村地域内で黄蓮を新規に栽培し、生産する個人に対して、奨励補助金を出したり、栽培管理等の指導講座を開催したりしています。

去る三月二十七日には、福井大学の仙城先生をお招きして、短期間に収穫出来る黄蓮栽培法の講習を受けましたが、多数の参加者から雪どけ後に実地に指導されるよう強く要望が出される等、意欲的な質問が多く出され、意義ある講習会でした。
尚、本年度の黄蓮栽培奨励補助金は、十アール当り二万二千元です。

「家庭の日」目標
木や草花を大切にし
美しい花を咲かせよう

人のおごき

【死亡】
下山 中村くめ 七一才

転作奨励補助金の種類と額

種類	金額	(参考) 10アール当たり平均
普通転作奨励補助金	単位当たり基準収穫量×転作水田面積×68円(1キログラム当たり)+5,000円(10アール当たり)	35,000円
特別転作奨励補助金 (永年性植物への転作)	単位当たり基準収穫量×転作水田面積×68円(1キログラム当たり)+10,000円(10アール当たり)	40,000円

休耕田に対する

転作奨励金のお知らせ

米の生産過剰によって、昭和四十五年以降生産調整が進められ、既に四年目であるが、昭和四十九年度より、休耕奨励金がなくなり他作物の転作とし、麦、大豆、小豆、野菜、養魚池、植林等の転作用に、昨年と同じ金額が、転作奨励金にかわり、目標数の転作田に達成したときは、協力特別交付金が支給されることになりました。休耕田のある農家は荒れ放題の耕地とせず、他作物に転作し奨励金を受けようお願いします。

家庭用LPガスの

産気率について

家庭用LPガスの標準的価格、十kg当り、千三百円は国民生活安定緊急措置法により、一月十八日から実施していることをご承知のことと存じます。さて県内の家庭用LPガスの販売形式を見ると約八〇%がメーター制をとっており、メーターによって料金が算出されています。メーターの数字はLPガスと消費した分が体積を単位として現わされているので、たとえば数字が四、八kgを示していれば一〇kg消費したことになり、ガスボンベの取替時に数字をおぼえておけば、残量を知りたい時の目やすになり、ガスがなくなってしまう急がなくてもすみます。しかし同じ一〇kgのガスでも効率よく消費できる場合と、そうでない場合があります。これはガスの産気率が、ガスの組成及び温度により異なってくるからです。したがって妥当な販売価格の決定が困難なため、このほど県では国の示した産気率と近畿二府三県の申し合せ

のもとにLPガス一〇kgの標準的産気率を次のとおり実施することになりました。
(1)福井県は家庭用LPガス一〇kg 四、八kgの産気率を最底限として実施する。
(2)この産気率は県下一円であり、年間一定とする。
(3)実施時期は四十九年二月分より実施する。

春の交通安全県民運動

【四月六日―四月十五日】

近年にない大雪でありましたが四月ともなると、雪もとけてそろそろ観光シーズンに入り、村にもようやく春らしい明るさが見え始めてきました。四月から学校も新学期に入り、また一方では、観光客もしだいに多くなり、人や車の動きが活発になり、当然交通事故発生心の心配も予想されますがこのほど県では、交通安全の確保と交通安全意識を高め、より良い交通環境の整備をめざして、四月六日(土)より四月十五日(月)までの十日間、春の交通安全県民運動が実施されます。



役場職員の一部異動

行政組織規則を一部改正

四月一日付で和泉村行政組織規則が一部改正され、総務課の財政係が税務係に改められました。又、職員の職の設置に関する規則も一部改正され、「事務局長、室長、課長および支所長」とあるを「事務局長、室長、課長、主幹および支所長」に改められました。これに伴ない職員の一部に次のとおり移動がありました。

- 総務課長 巢守俊太郎 (住民課長)
- 議会事務局 宮原公夫 (総務課長)
- 住民課長 末永彦治 (業務課長)
- 業務課長 島田 巖 (中竜支所長)
- 総務課主幹兼中竜支所長 末永秀一 (議会事務局長)
- 出納係長 島田 等 (財務係長)
- 保健衛生係長 深谷昌義 (振興係長)
- 振興係長 巢守関次郎 (出納係長)
- 税務係長 中村邦典 (総務課主事)
- 中竜支所長代理 番屋友吉 (保健衛生係長)
- 総務課 宮下 隆 (企画室)
- 米倉久子 (住民課)

- 企画室 谷 秀明 (総務課)
- 住民課 末永喜美代 (総務課)
- 朝日保育所 保母 広岡育代 新採用

本校中学卒業生進路別状況

進路別	朝日中学校		大納中学校	
	男	女	男	女
進学者	6	4	10	17
進学就職者	3	4	1	15
その他	9	1	7	3
合計	18	1	18	36

ご入学・ご卒業

おめでとう

卒業生のみなさん進学、就職おめでとうございます。また新入生のみなさん晴れの入学、心からお祝い申し上げます。

三月十九日、二十日、朝日、大納両中学校で、それぞれ卒業式が盛大に行なわれ、希望に胸ふくらむ卒業生たちは、在校生に見送られ想い出の多い学舎を後にした。

◆四月一日に入学される児童◆

◇朝日小学校(十一名)

児童名	性別	部落名	保護者
尾花朋之	男	朝日	継男
巢守和義	男	朝日	関次郎
今田真二	男	朝日	春好
桜田景治	男	朝日	確治
稲郷暢恵	男	朝日	栄一
中屋克己	男	朝日	稔
和田京	男	朝日	孝京

岡田真枝 女 朝日文雄
 新井幸代 川合基衛
 鷺見三千代 後野信雄
 清水和英 男 下山一英
 清水祐志 男 上大納辰二
 井上哲 哲夫
 田中公晶 一正
 大永弘美 弘
 石沢康之 吉長
 吉富文秀 由春
 加賀友子 正次郎
 小島弘明 肇
 武田敏充 誠哉
 松田英敏 善次
 関口のり子 源久
 田畑義美 義作
 竹中理香 一稔
 田上みどり 次徳
 杉本悟 学
 曾根文字 雄次
 村下充則 幸治
 松田明子 七男
 長岡容子 昇一
 田近孝子 武司
 齊藤順一 国恵
 佐々木千春 寛
 松林千香子 竹夫
 石丸和利 秀男
 原田太郎 時彦

りました。()内は前任校です
 ◎朝日小学校
 校長 石塚与兵治 (開成中)
 教頭 杉原精一 (村教委)
 教諭 谷あけみ (新採用)
 講師 松村美紀子 (村新採用)
 事務職 瀬先嘉子 (大納小)
 ◎大納小学校
 教諭 山村信一 (小山小)
 教諭 山田勝一郎 (大納中)
 養護教諭 漆崎弘子 (新採用)
 ◎朝日中学校
 教諭 伊藤三治 (開成中)
 教諭 小泉和子 (新採用)
 ◎大納中学校
 校長 山森庄一 (下庄小)
 教諭 石渡昭一 (大納小)
 教諭 島田真保子 (朝日小)
 教諭 加藤恵子 (新採用)
 事務職 常見陽子 (河和田小)
 ◎朝日幼稚園
 教諭 帰山つゆ子 (新採用)
 ◎村教育委員会事務局
 社教主事 前川幸一 (朝日中)
 社教主事 武田知道 (有終南小)
 ◎転任
 長い間ありがとうございました
 石田幸保 (朝日小) 北郷小へ
 宇野磯二 (上庄小) 上庄小へ
 城地美津江 (富田小) 富田小へ
 藪輪正和 (大納小) 上志比小へ
 古川清澄 (有終西小) 有終西小へ
 横田公広 (朝日小) 志比北小へ
 近藤清子 (大納小) 円山小へ
 嶋田文夫 (村教委) 蔵生小へ
 黒田不二雄 (朝日中) 福大附小へ

四月一日付

教職員定期動移

四月一日付で本村の各小中学校教職員の移動が、つぎのとおりあり

松島 功 (大納中) 小山小へ
 川根田繁紀 (大納中) 尚徳中へ
 皆川洋子 (大納中) 安居中へ
 ◎退職
 朝日幼稚園 教諭 山本茂子
 社会福祉事業協会

名士 作家 作品展示頒布会

石油や電力の危機により諸物価の高騰を招き、日常生活は深刻な状態に立ち至っております。まして社会福祉事業の対象となつて居る方々の困窮は目に余るものがあります。県下の寝たきり老人、独居老人、精神薄弱者、生活困窮者、保育に欠ける児童は県人口の一〇%にも達しております。これらの人々の上にも最近の経済危機の波がひしひしと押し寄せ、その生活は一層厳しさを増している状況であります。

こうした諸種の社会福祉事業の資金にあてるため、福井県社会福祉協議会では、社会福祉に理解の深い各界の名士並びに作家のご厚情とご支援を得てその方々の作品を一堂に展示し、これを希望者に頒布しようと展示会を次のとおり開催致します。

一、期日 昭和四十九年六月十七日から二十日までの四日間
 二、会場 県民会館一階展示場
 三、展示作品の種類
 イ、色紙、口、半切、ハ、横額
 ニ、工芸品、ホ、その他小品